

1. 施設の運転期間

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉
運転期間	定期点検中	2/3~29	2/4~29

2. 廃棄物の処理状況

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	合計
一般廃棄物 (t)	0.0	3,200.5	2,901.5	6,102.0

3. 設備にたい積したばいじんの除去を行った日

【実施頻度：施設停止中に随時】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉
温度調節器	2/7	—	—
集じん機	2/8,2/12,2/13,2/14	—	—
触媒脱硝装置	2/16,2/17,2/19,2/20,2/26	—	—

4. 施設の運転に係るデータ（連続測定値）

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	維持管理基準
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	—	883	863	800°C以上
集じん機前ガス温度 ^{※1} (°C)	—	147	150	概ね200°C以下
排ガス中のCO濃度 ^{※1,2} (ppm)	—	9	21	100ppm以下

5. 排ガス中のばい煙測定結果

【測定頻度：2か月に1度】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	排出基準
測定位置	—	煙突測定口	煙突測定口	
測定日	—	2/13	2/13	
測定結果が得られた日	—	3/4	3/4	
ばいじん ^{※2} (g/Nm ³)	—	<0.001	<0.001	0.08
硫黄酸化物 (Nm ³ /h)	—	0.018	0.012	第一工場：12.389 第二工場：12.186
窒素酸化物 ^{※2} (ppm)	—	26	19	250
塩化水素 ^{※2} (mg/Nm ³)	—	8	<1	700

6. 排ガス中のダイオキシン類測定結果

【測定頻度：1年に1度】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	排出基準
測定位置	—	—	—	
測定日	—	—	—	
測定結果が得られた日	—	—	—	
ダイオキシン類 (ng-TEQ / m ³ N)	—	—	—	1

※1 日平均値の測定期間における平均値です。

※2 ガス中の酸素が12%の状態に換算した値です。

1. 最終処分場について

場所	廃棄物の種類	埋立量 (m ³)	埋立開始日	埋立終了日
北東側	集塵灰固化物	11,884	昭和55年4月1日	昭和58年3月28日
北西側	集塵灰固化物	39,938	昭和58年3月27日	平成11年7月30日

2. 施設の点検結果

	点検対象施設			
	擁壁等	覆土	側溝	看板等
点検日	令和6年2月27日	令和6年2月27日	令和6年2月27日	令和6年2月27日
点検方法	目視	目視	目視	目視
点検結果 (異常の有無)	無	無	無	無
必要な措置を講じた日と内容	日付け			
	内容	無	無	無

3. 水質検査結果

測定頻度：周辺地下水：1月1回（全項目は年1回）

：点検井戸：3月1回（全項目は年2回）

分析項目	周辺地下水	
	3号井戸	4号井戸
電気伝導率 mS/m	23.9	22.3
塩化物イオン濃度 mg/L	16	17
採水日	令和6年2月5日	令和6年2月5日
報告日 (検査結果の得られた日)	令和6年2月27日	令和6年2月27日